



発行所
公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通3丁目16番3号
編集発行人 岸谷義雄
通字 非 戸 加 事

消すまでは
心の警報
ONのまま

淡路島を震源とする地震の被害状況、被災者支援対策等について

兵庫県

公益財団法人に移行！

公益財団法人兵庫県消防協会

公益財団法人化の ごあいさつ

青葉が目眩しいこの頃、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、兵庫県消防協会は、兵庫県知事より公益財団法人の認定を受け、平成二五年四月一日から「公益財団法人兵庫県消防協会」として新たな一歩を踏み出すことになりました。新法人への移行に關しましては、皆様方をはじめ多くの関係者からひとかたならぬご支援、ご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

当協会は、昭和二三年に財団法人として設立して以来、長年にわたり消防団員・消防職員の活動の支援を行う団体として、兵庫県と共催で実施する消防操法大会や消防功労者表彰の他、防火思想の普及啓発、共済事業など消防に關するさまざまな事業を実施してきました。この度の移行を契機にして、今まで以上に、消防思想の普及徹底、消防設備の改善、消防活動の強化を図り、もって災害を防止し公共の福祉の増進に寄与してまいります。



公益財団法人
兵庫県消防協会
会長 岸谷 義雄

平成二五年四月一日



公益財団法人になりました

一 被害状況 (平成二五年五月一三日一六時現在)

- 地震の概要
 - (一) 発生日時：平成二五年四月一三日(土) 五時三三分
 - (二) 規模等：マグニチュード六・三
- 震度六弱 淡路市
- 五強 南あわじ市
- 五弱 洲本市

2 判明している被害状況

- 人的被害
 - (一) 死者数：〇名、負傷者数：二五名(重傷七名、軽傷一八名)
 - (二) 建物被害
 - 全壊：八件、大規模半壊：三件、半壊：七二件、一部損壊：八、八七二件

二 被災者支援対策

- 見舞金
- 災害援護金の支給対象を一部損壊(損害割合：〇%以上)に拡充
 - 住家に半壊以上の被害を受けた世帯の世帯主及び重傷の被災者等に対して支給する災害援護金の被害の対象を、床上浸水に相当する一部損壊に拡充

支給対象者 自然災害により一部損壊(損害割合一〇%)以上の被害を受けた世帯主及び重傷の被災者

(問い合わせ先) 社会援護課福祉企画係

Tel. 〇七八一三六二一三二八

◎ 参考

- フエニックス共済制度加入者への見舞金の支給
- フエニックス共済制度への信頼感を高め、制度の認知度向上を図るため、被災した加入者に見舞金を支給

2 住宅支援

- ひょうご住宅災害復興資金の貸付及び金利負担の軽減
- 地震被害からの早期復旧と新たな災害に備えるため、小規模な一部損壊にも対応できるよう住宅復興融資を実施
- 貸付対象者 半壊、一部損壊の被害を受けた被災者で、住宅の補修を行う者

(問い合わせ先) 住宅政策課住宅行政係

Tel. 〇七八一三六二一三六二

三 住宅の耐震化の推進

- 簡易耐震診断の無料化
 - 一部損壊(損害割合一〇%以上。以下同じ。)以上の住宅について、所有者が早急に建物の状況を把握し、耐震化を進められるよう、所有者負担(現行一割負担)を無料化
- 対象住宅 昭和五六年五月以前着工の住宅で、今回の地震災害で一部損壊以上の被害を受けた住宅

(問い合わせ先) 各市町の都市計画課

- わが家の耐震改修促進事業(住宅耐震改修工事費補助)における補助額の引上げ
 - ① 住宅耐震改修計画策定費補助(従前どおり)
 - ② 対象となる費用 昭和五六年五月以前に着工し、耐震診断で安全性が低いと診断された住宅の耐震改修計画の策定とそれに伴う耐震診断に要する費用
- 住宅耐震改修工事費補助
 - ① 対象となる費用 昭和五六年五月以前に着工し、耐震診断で安全性が低いと診断された住宅の耐震改修計画の策定とそれに伴う耐震診断に要する費用

(問い合わせ先) 建築指導課防災耐震係

Tel. 〇七八一三六二一四三〇



がれき仮置き場の様子 (淡路市生穂)

消防団一二〇年記念大会開催!

(公財) 兵庫県消防協会
兵庫県まとい会



会場の様子

今年(平成25年)は明治二十七年消防組規則の制定により全国的に統一した消防組(消防団の前身)がスタートして一二〇年目の年にあたります。また、自治体消防発足から六五周年になる年でもあります。

その節目の年を記念して、平成二五年五月二九日(水)ANAクラウンプラザホテル神戸において、消防団一二〇年記念大会を兵庫県消防協会と県まとい会の共催で実施しました。

まず研修会の開会にあたり協会の総裁である井戸知事からご挨拶をいただきました。ご挨拶では、消防団の歴史の振り返りと今後の期待や淡路島地震時の対応、南海トラフ大地震への備えなどのお話をいただきました。記念講話として齋藤富雄初代防災監から「消防団に期待すること」を題に、東日本大



齋藤初代防災監講話

震災での消防団員の活動や被害状況、備えについて、また、地域防災における消防団が果たすべき役割やその重要性、地域における消防団の在り方についてお話いただきました。

近年では、火災のみならず豪雨災害や地震、津波災害といった多くの災害が身近に発生しており、地域防災力の充実強化は大きな課題となっております。

今回の研修会を通じて改めて災害時に地域防災力の要として消防団が果たすべき役割の重要性を再認識するきっかけとなり、消防団の更なる充実に向けて尽力していきたいところです。研修会に続いて、意見交換会を実施し、現役・OBを問わず消防にかける熱い思いのこもった活発な意見交換が行われました。



井戸知事あいさつ

今回の大会では、多くの消防人達が築き上げてきた長い歴史と大きな消防力を改めて確認したところですが、協会・まとい会共々、地域を守る消防団を今後更に発展・強化させ、消防団が未来永劫続いていくよう尽力し、それにより地域の安全・安心確保に努めていきたいと思っております。

- 記念大会次第
- 開会
 - 挨拶 井戸敏三県知事
 - 記念講話 「消防団に期待すること」 齋藤富雄初代防災監
 - 意見交換会
 - 閉会

第三一回「兵庫消防」地区通信員会議開催

～広報紙「兵庫消防」の充実に向けて～

兵庫県消防協会事務局

平成二五年四月二三日(月)、兵庫県災害対策センター三階会議室において、第三一回「兵庫消防」地区通信員会議を開催しました。

協会の公益財団法人化に伴い広報紙「兵庫消防」も新たな一歩を踏み出します。県・県協会及び各支部の事業やその他最新の消防事情等の行政情報等を掲載するなど中身の濃い充実した広報紙を目指してまいりますので、今後ともご愛顧いただければ幸いです。

本年度の地区通信員をご紹介します。(敬称略)

- 神戸地区 神戸市消防局 川辺 晃生
- 阪神地区 芦屋市消防本部 丸岡 輝雄
- 東播磨地区 加古川市消防本部 梶原 政彦
- 中播磨地区 姫路市消防局 中島 正明
- 北播磨地区 西脇市役所 足立 吉則
- 西播磨地区 上郡町役場 藤井 一泰
- 但馬地区 養父市役所 宿南 丈治
- 丹波地区 篠山市役所 河南 芳郎
- 淡路地区 南あわじ市役所 川添 雅弘

兵庫県防災局 幹部紹介

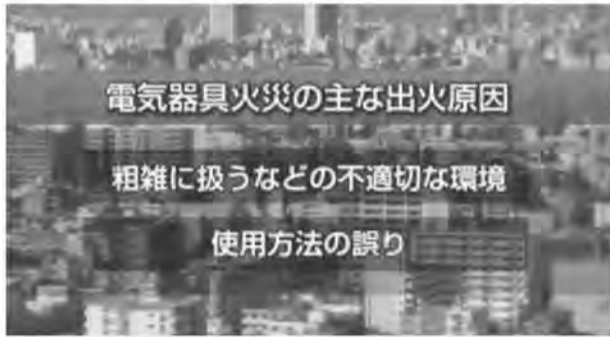
(平成二五年四月)

- 防災監 杉本 明文
- 防災企画局長 杉原 基弘
- 災害対策局長 松原 浩二
- 広域防災参事 藤森 龍
- 防災企画課長 坂本 誠人
- 防災計画課長 高見 隆
- 広域企画室長 計倉 浩寿
- 復興支援課長 亀井 浩之
- 災害対策課長 北本 淳
- 訓練・調整参事 宇仁 貫一
- 防災情報室長 向山 秀昭
- 消防課長 中井 弘慈
- 産業保安課長 景井 宏明
- 広域防災センター センター長 兼消防学校校長 上り口 豊
- 広域防災センター 総務部長 森田 克彦



この度、消防庁では、使用者の誤使用や不適切な使用環境により発生する電気器具火災の予防啓発ビデオ「未然に防ごう！電気器具火災」を製作しました。

このビデオの内容は、一般的な住宅環境を再現し、延長コードや電子レンジ、電気ストーブといった身近にある電気機器を通じて、誤使用や不適切な使用環境により発生する火災を再現し、火災発生メカニズム及びその予防方法等について、専門家の解説を交えたわかりやすい内容となっております。



消防庁
ホームページアドレス
http://www.fdma.go.jp/html/life/yobou_contents/materials/movie/mov10.html

火災予防啓発ビデオ
「未然に防ごう！」
電気器具火災の
制作・発表
消防庁

自由に視聴及びダウンロードができるように消防庁ホームページに映像資料が掲載されており、是非ご覧ください。

兵庫県消防協会のホームページ
「こんにちは!兵庫の消防団です」
のご利用について
(公財) 兵庫県消防協会

兵庫県消防協会のホームページ「こんにちは!兵庫の消防団です」へアクセスいただきありがとうございます。日頃からご利用いただいている皆様のおかげで、アクセス件数が三五万を突破いたしました。

これからもホームページを通して、消防協会の活動や団員の皆様の活躍の様子などお伝えさせて頂きたいと思っております。

また、皆様の情報交換の場として、一層の内容の充実とホームページの幅広いPRを行っていきたく思います。

今後とも、皆様のご協力をよろしく願っています。

このホームページが県内外の多くの皆様との交流の場となれば幸いです。

平成25年度 危険物安全週間標語
「あなたこそ 無事故を担う 司令塔」
消防庁

危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を推進するため、平成二年消防庁により「危険物安全週間」が制定されました。平成二五年度の危険物安全週間は、六月二日(日)から六月八日(土)までです。

また、(一財)全国危険物安全協会が、危険物安全週間の行事を推進するため、危険物災害の防止と危険物の貯蔵・取り扱いの安全を呼びかける標語を募集したところ、平成二五年度は、応募総数一三、二九二点の中から山口県宇部市の原匡史さんの作品が最優秀作に選ばれました。

なお、平成二五年度のポスターモデルは、女子サッカーの宮間あや選手です。

危険物を安全に取り扱い、事故を未然に防ぎましょう!

●消防団 FREETALK 掲示板
フリートーク形式による掲示板です。消防・防災に関連のあるご意見・ご感想を自由に書き込んでください。女性消防団の方は専用掲示板「Lady's Fire」の掲示板を意見交換の場としてご利用ください。

●消防掲示板カレンダー
カレンダー形式で書き込める、消防団関係の行事イベント等を照会する掲示板です。消防出初式、消防操法大会はもちろん、分団レベル等の行事でも記入が可能です。消防団に限らず、消防本部等でお知らせしたい行事等ございましたら、お気軽にご利用ください。



兵庫県消防協会のホームページ <http://www.hyogoshoubou.jp/>



平成25年度 危険物安全週間標語ポスター

平成25年度 兵庫県消防学校 第78期 初任教育入校式挙行!!

167名が消防士への第一歩踏み出す!



(公財) 兵庫県消防協会

第78期初任科生



入校式

平成二五年四月四日(木)、春のさわやかな晴れ間のもと、兵庫県広域防災センターにて第七八期初任教育入校式が挙行されました。消防士として採用された新規職員は、六ヶ月におよぶ全寮制のもと、消防士として必要な体力・気力・知識・技術を習得し「強くてやさしい心」を持った消防士になるため、厳しい訓練を受けなければなりません。

今年度は県内二一消防本部から一六七名の初任科生が入校しました。

式典では初任科生を代表して、姫路市消防局の西坂侑也消防士が「学校規則の遵守、教育訓練への専念、教育生として本分を尽くす」という宣誓を行い、「消防士」への第一歩を踏み出しました。

これから六ヶ月間、兵庫県民の安全・安心な暮らしのため、多くのことを学んでいただきたいと思えます。

第七八期初任科生の皆さん!辛くて苦しい訓練日々も、仲間との絆を深めながら、強い心で乗り越えてください!!

平成二五年三月二十九日(金)、県災害対策センター会議室にて、県内各消防本部から派遣された職員の併任解除の辞令交付式が執り行われました。

併任解除辞令と併せて、知事より派遣期間中の功績に対する感謝状が贈呈され、また県広域防災センターへ派遣されていた職員へは、県消防協会長からも、消防団員の教育訓練にご尽力いただいたことに対する感謝状が贈呈されました。

平成二五年四月一日(月)、同じく県災害対策センター会議室にて、県内各消防本部から派遣された職員の着任辞令交付式が執り行われ



中井消防課長、廣田消防学校長と併任解除辞令を受け取った派遣職員の皆さん

ました。その後早速、それぞれの新しい所属へ向かわれました。

派遣期間を終了された皆様には、その豊富な知識と経験を生かし、県消防防災の強化にご尽力いただきました。心からの感謝とお礼を申し上げます。今後のご活躍・ご健勝を祈念しております。

そして新しく着任された皆様、県民の安全・安心のため、そして消防防災力強化のため、よろしくお願ひします。

この度の併任解除と着任は次のとおり。

◎併任解除

【兵庫県消防課】
小松 茂 (神戸市消防局)

【兵庫県消防課】
林 利幸 (神戸市消防局)

【兵庫県消防課】
山本 勝彦 (神戸市消防局)

【兵庫県消防課】
東谷 浩二 (西宮市消防局)

【兵庫県消防課】
渡海 正則 (神戸市消防局)

◎着任

【兵庫県消防課】
田口 裕史 (神戸市消防局)

【兵庫県消防課】
津坂 大輔 (神戸市消防局)

【兵庫県消防課】
小川 浩司 (明石市消防本部)

【兵庫県消防課】
菅原 聖次 (神戸市消防局)

【兵庫県広域防災センター】
下原 壽宏 (神戸市消防局)

【兵庫県消防課】
泉月 建豪 (明石市消防本部)

【兵庫県消防課】
橘 靖洋 (加古川市消防本部)

【兵庫県消防課】
北川 達也 (宝塚市消防本部)

【兵庫県消防課】
光明 和彦 (北はりま消防本部)

【兵庫県消防課】
竹本 貴範 (三田市消防本部)

【兵庫県消防課】
小玉 耕史 (西宮市消防局)

県消防課 ・ 県消防防災航空隊 ・ 県広域防災センター
派遣期間終了と着任
(公財) 兵庫県消防協会

消防団ピックアップ

防火・防災イベント 『BOSAーセッションあまがさき小田』開催

尼崎市消防団

平成二五年三月一日(日)、JR尼崎駅前の大型商業施設「ココエあまがさき」にて防火・防災イベント『BOSAーセッションFR OMあまがさき小田』地域から奏でよう防災の音色』が開催されました。

このイベントは、尼崎市東消防署が企画したもので、地域防災力の向上を目的に、地元住民、企業、行政が協力し合い、開催されたものです。尼崎市消防団からは、小田地区消防団一〇分団と、あまがさきファイヤーフェアリーズ(女性消防団員)が参加しました。



あまがさきファイヤーフェアリーズによる防火防災教育「防災ダック」



消防団PRコメントを熱心に見る利用者

- イベント内容としては、
- (1) 防火・防災啓発ステーション
 - (2) 消防団活動紹介、入団促進キャンペーン
 - (3) 自主防災会活動紹介、社会福祉協議会入会促進キャンペーン
 - (4) 体験消防訓練スタンプラリー
 - (5) 心肺蘇生法やAED取り扱い等の一次救命処置体験
 - (6) 全員参加型震災時初期行動訓練「あまがさきシェイクアウト」
 - (7) あまがさき小田地区安全宣言
 - (8) 警察や市防災対策課による防災パネル展
 - (9) 消防装備展

消防団としては、消防団の活動紹介展示ブースを設け、各分団員さんの、「平常時の顔」と「非常時の顔」を写した写真、そして消防団のPRコメントや日ごろの活動を記したポスターを作成し、展示しました。

来場者からは、「団員さん達の普段の姿を見ることで、消防団に親近感を覚えた。」といった声も聞きました。

また、団員の家族の方がポスターを誇らしげに見ておられるのが印象的でした。

あまがさきファイヤーフェアリーズは、特設ステージにおいて、子ども達への防火・防災教育として、「防災ダック」というカードゲームを使って災害時に身を守る方法を子ども達と一緒に学びました。



シェイクアウトに参加する利用者

参加した子ども達も誰もが楽しみながら学べる内容で、夢中になって取り組む子ども達につられて、ご家族の方も一緒に参加されておられました。

また、イベント途中に、館内一斉に緊急地震速報が流れ、震災時初期行動訓練「シェイクアウト」に、居合わせた利用者、テナント関係者約五〇〇人が、自発的に参加しました。

「続ける。」といった宣言を行いました。

最後に 今回のイベントの最大の特徴は、地域住民、企業、行政がそれぞれに役割を持ち、力を合わせて開催した点です。

地域防災力を高めるためには、互いに助け合う「共助の精神」が必要です。

この「共助の精神」を高めるには、互いを理解し、互いを尊重し合う環境を平時から育むことが重要です。尼崎市消防団は、今回のイベントを通じて、地域住民と消防行政との間に立ち、互いに手を取り合い、地域愛護の精神で、その役割を果たしていきたいと思えます。

消防互助年金の改正のお知らせ

財団法人 日本消防協会

消防互助年金制度は、現在ご加入いただいたとおり、消防団員及び消防職員の皆様の利便性を大幅に向上するために、掛金の払込方法に月払いや一時払いを設けるなどの改正を行い、平成二五年七月一日から消防個人年金としてスタートします。

少子高齢化による公的年金の受給水準の引き下げ等により、自助努力が必要とされる今般、消防個人年金で安定した老後を描いてみませんか。

(お問い合わせ先)
財団法人 日本消防協会
年金共済部
フリーダイヤル
〇二〇-六五八-四九四
平日 午前九時から
午後五時まで



消防団でミックアップ

『輝け稲美の消防団』

稲美町消防団

稲美町は兵庫県南部の東播磨地域にあり、東は神戸市、西は加古川市、南・北には明石市、三木市とそれぞれ隣接しています。消防団の発足は昭和三〇年の合併により稲美町が誕生したときにさかのぼります。現在では、消防事務を加古川市に委託しています。今でも自分たちの町は自分たちの手で守るという意識が強く、消防団の活動がとてもしつこく、消防団は六分団四三部で構成され、この中に団員八五〇人余りが所属しています。

稲美町は、その名のとおり古くから稲作が盛んで、また、瀬戸内式の気候のため、先人たちは、ため池を築いて少ない雨を利用してきました。現在でも、全国有数のため池密集地で八九ものため池があり、町の面積の一二%を占めています。この中には、全国で二番目に大きな加古大池も含まれています。また、県内最古で大和時代後期に築造されたとされる天満大池があり、絶滅危惧種に指定されているアサザの生息も確認されています。また、秋には、

池のほとりにある天満神社で神輿を池に豪快に投げ込む禊で知られる秋祭りが行われます。さて、稲美町消防団は、日々の消防器具の点検や訓練による火災への備えに加え、前述のため池の決壊に備えた水防訓練を実施しています。毎年五月頃に加古川市消防署稲美分署の指導の下、積み土の訓練などの水防訓練を行っています。また、稲美町で実施される花火大会などの警備や地元の夏祭りなどにも積極的に協力して地域に密着した活動を行っています。二月には日本赤十字社の献血事業に協力しており、毎年一〇〇名を超す団員が協力しています。血液が不足する季節に実施していることで、大変感謝されています。三月に実施される一斉放水では、器具の点検を兼ねて四三の消防車から放水が行われ、稲美野台地に春の訪れを告げるように加



出初式における表彰の伝達



積み土のう訓練

古大池に水のアーチがかかりました。三月から四月にかけては、毎年行われている操法大会に向けて夜遅くまで町内五つの小学校に分かれて熱心に練習を行っています。今後稲美町消防団は、地域防災の要として、また防火防災のために消防本部と連携しながら責務を果たしていきたいと思っています。稲美町では、これから六月になると一斉に田植えが行われ、のどかな田園風景が広がり、水田をはぐくむ水を満面にたたえた八九のため池群が大地を照らします。一〇月になると休耕田を利用した町花コスモスの花畑が見られ、各所で色とりどりの花を咲かせます。水と緑にあふれた稲美町にぜひ一度お越しください。



一斉放水

わが町の団長さん

「地域に根付いた消防団」

神戸市兵庫消防団長

高口 信喜



神戸市兵庫区は、神戸市のほぼ中央に位置し、北側には鳥原水源地を中心とした豊かな自然があふれ、南側には兵庫運河と海の幸あふれる中央卸売市場と活気ある町並みで形成されています。また、大河ドラマ「平清盛」でも有名になった清盛ゆかりの史跡が多く残されている地域です。兵庫消防団は、一団本部、六分団が配置され、団員定数一五〇名で構成されています。

高口信喜団長は、昭和五四年一〇月入団以来、地域を守る意気に燃え、団員の指導育成、災害防衛活動の各分野において尽力し地域防災の要として活躍してきました。趣味は、旅行と歴史関係の読書です。特に江戸時代の武將に興味を持ち、江戸時代初代将軍徳川家康が大好きだそうです。また、お仕事は電気工業所を経営されており、事と消防団活動を両立されています。体と心の癒しは、遊びに来る二人のお孫さんたちと遊ぶことだそうです。兵庫消防団は、平成二六年

に開催される第二五回兵庫県消防操法大会に出場します。団員一同が心をひとつにして取り組む姿勢を表明され心強く感じられました。今後も兵庫区民に親しまれ、地域防災の要として信頼される消防団を築いていきたいと願っています。



「明るく、心優しい兄貴分」

福崎町消防団長

後藤 健康



福崎町は、兵庫県の中播磨地域の中心に位置し、市川中流の兩岸にひろがり、豊かな自然と日本民俗学を確立し歴史に名を残す柳田國男生誕の地で歴史と文化が漂う魅力あふれるまちです。福崎町消防団は、後藤団長以下六〇〇名、消防車両三四

台をもって、地域の安全・安心のため活動しています。後藤団長は、平成六年に福崎町消防団に入団され、平成一九年に分団長となり、平成二〇年には本団幹部に抜擢されました。以後、副支部長、支部長を歴任し、平成二四年に団長に就任しました。持ち前の行動力と冷静な判断力、火災や水防の災害現場においては、適確な指揮をとるとともに、率先して活動にあたられています。また、地域を愛する心も大きく、地元の学校で行われる避難訓練や常備消防との合同訓練にも積極的に参加し、地域へ貢献する姿勢、多様な知識を習得する姿勢には目を見張るものがあり、他の団員の良い刺激となっていることは言うまでもありません。消防活動時の団長は冷静沈着かつ厳格、統率のとれたリーダーシップを発揮していますが、普段の団長の素顔は、非常に明るい性格の持ち主で、様々な場を温かな雰囲気にしてくれ、また、他の団員との年齢も近く、根っからの優しい性格でもありますので、何でも話しやすい、相談しやすい雰囲気を作ってくれた『心優しい兄貴分』といった存在でもあります。後藤団長が就任されてから早や一年が過ぎましたが、これからも益々奮闘していただき、福崎町消防団を牽引し、災害から町民の生命・財産を守るリーダーとしてのさらなる活躍が期待されています。

われら若手消防団員

地域のために

姫路市姫路東消防団 別所分団
松本 充洋



私は、「消防団は火を消すだけの仕事だ、火災も少ないし楽勝だ。」と安易に入団しました。それが入団してから一ヶ月後、地元で大規模な山火事が起こりました。しかし、現場に行つたものの指示を受けても何もわからず、ただ燃えている山を見ているだけで時間が経過して、消火どころか団員の足を引っ張ってしまっている自分の無力さを痛感しました。これが気持ちを入れ替えるきっかけとなりました。ちょうどその頃、ポンプ操作の練習があり機関員に抜擢され練習を重ね、車両の操作、ホースの延ばし方、筒先の扱い、規律などきめ細かく先輩に指導していただき、消火活動の一連動作を身に付けることが出来ました。それから五年後、また五日間燃え続ける山火事があつた時には、安全に素早く行動ができ、「役に立っているじゃん。」と思ひ、過去を振り返ると嬉しくなりました。その後、火災があつても先輩の足を

引つ張ることなく自信を持って率先して活動できるようにになりました。また、消防では消火活動だけでなく、水防訓練や初期消火訓練、救命講習など、何かあつたときにすぐに対応できるように多くの知識を得るなど、色々と勉強させてもらいました。そして今では応急手当指導員に認定していただき、地域の方々に救命講習を行っています。消防に入つてよかったと感じることは、多くの知識を得るだけでなく、近所でありながら話をしたことがなかった人など、普段会話することのない地域の人々とコミュニケーションが取れて横のつながりが深められたことです。そして、多くの知人ができ、それによって絆が大きくなっていくことを嬉しく思います。これから消防活動を通じて、自分のため、家族のため、地域のために貢献できるように励みます。

がんばってます、女性消防団員

『楽しい消防団活動』を目指して

加古川市消防団
「加古川リバーエンジェルズ」
藤田 千帆



私たち加古川市消防団女性分団は平成一八年四月に団員数二〇名で発足し、現在は一二名が在籍しています。女性ならではの発想で、『楽しい消防団活動』をモットーにいろいろな活動に取り組んでいます。幼稚園訓練では、地震や火事の時にどう行動すればいいのか、自作の紙芝居の読み聞かせをしたり、研修会で習っ

たシーツを煙に見立てた避難訓練を行ったりしています。各地域の男性消防団員と協力して、園児に体感してもらいながら楽しく訓練を行っていますので、大変好評です。毎年市内五園程度の依頼があります。救命救急では、団員全員が応急手当普及員を取得することを目標にしており、新入団員の普通救命講習、防災フェスタにおける市民への心肺蘇生法の指導、医師会主催のAED講習におけるサポートなどを行っています。多くの市民の方が心肺蘇生法をマスターして頂けるよう、丁寧な指導を心掛けています。平成二〇年からははしご乗りを始めました。消防出初め式だけでなく、防災の集いなどでも披露させて頂いていま

す。次は半鐘隊に挑戦したいです。平成二二年からは全国初の女性みの消防ラッパ隊を編成しました。自衛隊の方に指導して頂きながら練習を重ね、毎年出初め式で披露させて頂いています。今後は団員数を増やしてさらに活動範囲を広げていきたいと思っています。



市民防災のつどいでのはしご乗り演技

地域のお知らせ

赤穂市

「赤穂市イベント情報」

赤穂市は、播磨灘と千種川の清流にはぐくまれた古い歴史と伝統をもつ、義士発祥のまちです。

自然と歴史のまちで行われる様々なイベントをご紹介します。

是非、ご家族で赤穂市のイベントにお越しください。

(春のイベント)

赤穂御崎さくらまつり

時期 四月初旬

場所 東御崎展望台広場

瀬戸内の青と桜ピンクのコントラストが美しい赤穂を代表する桜名所でのイベントです。



(夏のイベント)

市民の夕べ

時期 平成 五年八月三日(土)

場所 県立赤穂海浜公園

昨年より会場を県立赤穂海浜公園へ移し、二、五〇〇発の打ち上げ花火が赤穂の夜空を彩ります。

(秋のイベント)

坂越船まつり

時期 平成 五年 二月 二日(日)

公園)などの観光名所を回るマラソン大会を実施しています。

ハーフ・一〇キロメートル・五キロメートル・三キロメートル・二キロメートル・ファミリーとコースも充実していますので是非、ご参加ください。

(冬のイベント)

第一〇回赤穂義士祭

時期 平成 五年 二月 四日(土)

場所 赤穂城跡から播州赤穂駅前

今から約三〇〇年前に起きた一大事件といわれる赤穂義士たちによる討ち入り、主君

浅野内匠頭の無念を晴らすため一年九ヶ月もの歳月を費やし、見事本懐を遂げた英雄たちのひたむきなまでの忠誠心は、当時から伝え、語られ、今もなお国民的ロマンとして受け継がれています。

「赤穂義士祭」は今年で第一〇回目を迎え、赤穂市最大のイベントとして盛大に開催されます。



国の天然記念物の生島お旅所までの船渡御

第三回赤穂シティマラソン

時期 平成 三年 二月 二日(日)

場所 赤穂城南緑地公園

赤穂市では「健康とスポーツを新機軸としたスポーツ先進都市」の実現を目指し平成二三年度より赤穂城跡、太鼓橋、息継ぎ井戸・御崎(国立



雨の中行われた第二回赤穂シティマラソン

赤穂かきまつり

時期 二月初旬

場所 県立赤穂海浜公園

豊かな自然が育てた栄養豊富な海のミルクといわれる美味しい赤穂牡蠣を堪能できる一日です。

生牡蠣の即売、焼き牡蠣の無料配布、ステーションイベントなど家族ぐるみで楽しめます。



赤穂義士行列

地域のお知らせ

多可郡多可町

「三つの発祥の町」

兵庫県のほぼ中央に位置する多可郡多可町は、酒米の最高峰「山田錦」、日本一の手すき和紙「杉原紙」、国民の祝日「敬老の日」と全国的に知名度のある三つの発祥の町です。

神戸や大阪から約八〇分、姫路からは約六〇分と比較的都市部に近く、都市農村交流施策の展開には最適地といえます。

豊かな自然に恵まれた魅力あふれる町。四季折々の自然風景を満喫できる場所。

町のシンボルともいえるべき妙見山、千ヶ峰、笠形山の美しさは自然を体感できる登山として重要な観光資源となっており、春は桜、秋には紅葉が咲き、南北に流れる杉原川やその支流では初夏にはホタルが舞う幻想的な風景が楽しめます。

これら自然を生かした体験施設の充実に加え、多可町の自然農法で育てられたお米や野菜、播州百日鶏・シカ肉の加工品、山田錦のお酒、播州ラーメンなどの特産品があり、おふくろの味の定番「巻き寿司」は多可町の代表商品となっており、道の駅や直売所などで販売されています。

また、伝統文化として子供達に継承している播州歌舞伎などの文化的遺産があり、歴史街道モデル地区として至るところにある神社仏閣で歴史

の奥深さを見ることができません。

奈良時代に編まれた播磨風土記に「昔在大人常句行也。自南海到北海。自東巡行之時。到来此土。云他土卑者常句伏而行之。此土高者申而行之。高哉。故曰託賀郡」とあります。

あらまは「むかし大人（おおびと）がいて、あちこち巡行するとき空に頭がつかえるので、いつもかがんで歩いていて、ところが、この地まで来ると、腰を伸ばして歩くことができた。故に、多可の郡（こおり）と呼ぶ」というような意味です。

これが当地の「あまんじゃこ伝説」のもとになっています。

とてつもなく大きいあまんじゃこは、空が今より低かった頃、いつも腰を屈めて歩いていました。ところが、この地まで来ると空が急に高くなつていて、うーんと背伸びをすることができました。しばらく当地に滞在したあまんじゃこは、いろいろな悪さを

しました。中区には石の天秤棒で山を取り除こうとして折れた長石や流した涙でできた思出川、加美区には岩座神の集落名にもなったあまんじゃこが積んだ塔の石、八千代区の笠形山には石垣など、至る所にあまんじゃこの逸話が残っています。

いたずら好きのあまんじゃこが人々に親しまれているの

五〇四（行こーよ多可町へ）歳。出身地は明石市。性格はのんびりでおっとり、そしてあまのじゃく。趣味は多くの人に出会い遊ぶこと。好きな食べ物はおいしいん坊なので何でも食べます。たか坊の仕事は、町の行事や観光キャンペーン、イベントに参加して広く多可町のPRに努めることで、たか坊の生みの親であ



多可町マスコットキャラクター・多可のあまんじゃこ「たか坊」

は、「多可郡」の名付け親というだけでなく、憎めないキャラクターと由緒の深さでしよう。全国各地に大男伝説はあっても、当地のあまんじゃこは別格です。これからは多可町各地で語り継がれ子どもたちに夢を与える楽しい物語が創られていくことでしょう。

「坊」を組み合わせて「たか坊」と名付けられました。チャームポイントは、食いしん坊で何でも食べるため、岩をかじってしまい、二本になつてしまった歯です。また背が高いため日焼けしたほおや赤い鼻が特徴で、髪は多可町の緑豊かな自然のイメージが表現されています。性別は男の子。生年月日は昔々で一

る多可高校生も一緒にPR活動をしています。平成二四年にはたか坊に特別住民票が交付、四月にオープンした観光総合案内所「まの駅たか」の駅長に任命されています。

一年中自然とふれあい楽しめる多可町に是非お越しください。

杉原紙の原料、コウゾの川さらし



杉原紙



山田錦と妙見山



「敬老の日」発祥の碑

3つの発祥の町

消防団員が献血

高砂市消防団

高砂市消防団（作間尚義団長以下六七四名）は、四月二八日（日）高砂市消防本部救助訓練場において、平成一七年以降、毎年実施している献血を行いました。

一四〇人全員が四〇〇ミリリットルの献血を行いました。来年以降も継続していく予定です。



献血前の検診

編集後記

吹く風も心地よい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

この度、「財団法人兵庫消防協会」は、兵庫県知事より公益財団法人として認定をいただき、平成二五年四月一日から「公益財団法人兵庫消防協会」としてスタートすることになりました。今後は、公益目的事業に添う法人運営の重要性を再認識し、職員一同気持ちを新たに、消防力の向上や災害防止に尽力していきたいと考えております。引き続き今後とも尚一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

なお、今年度の「兵庫消防」の編集は前任の曾奈に代わり、新しく辻が担当することになりました。「兵庫消防」が消防団に対する理解を深めるきっかけとなるように努めていきますので、今後とも愛読よろしくお願いたします。